

# エーザイ株式会社の消化器疾患領域事業と 味の素製薬株式会社の統合について

～国内最大の消化器スペシャリティファーマを目指して～

2015年10月15日

エーザイ株式会社  
味の素株式会社

# 将来見通しに関する注意事項

- 本資料中の目標数値はあくまで中期的戦略、めざす方向性、ビジョン等を示すものであり正式な業績予想ではありません。正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく年次決算短信での開示をご参照ください。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

# 目次

- I. **新統合会社について**
  - 1. **国内最大の消化器スペシャリティファーマを目指して**
  - 2. **新統合会社スキーム、概要**
  - 3. **統合の意義**
  - 4. **EAファーマ株式会社(以下、「EAファーマ」)の販売製品**
  - 5. **EAファーマの開発パイプライン**
  - 6. **統合シナジー**
  
- II. **味の素株式会社(以下、「味の素社」)における本統合の意義**
  - 1. **医薬事業の位置づけ**
  - 2. **本統合の意義**

# 1. 国内最大の消化器スペシャリティファーマを目指して

## 新統合会社 EAファーマ株式会社 (EA Pharma Co., Ltd.)

**エーザイ株式会社** (以下、「エーザイ」)  
消化器疾患領域における60年以上の  
創薬・情報提供活動に基づく有力な  
製品、開発パイプライン、ならびに  
豊富な知識、経験、ネットワーク



**味の素製薬株式会社**(以下、「味の素製薬」)  
独自のアミノサイエンス技術をベースに  
消化器疾患領域を中心とした  
ユニークな製品、開発パイプライン

### — 消化器疾患領域 —

高齢化による罹患率の増加のみならず、生活様式の変化や  
社会的ストレスの増加などを背景に、より若い世代のクローン病や  
潰瘍性大腸炎といった難治性の自己免疫疾患が急増するなど、  
未だ満たされない医療ニーズが存在

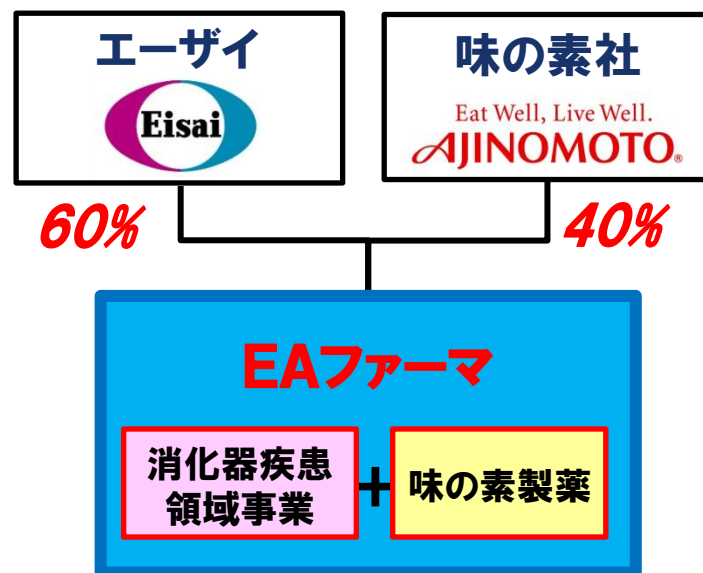
研究開発から販売まで、消化器疾患に特化したスペシャリティ  
ファーマとして、消化器疾患領域の未だ満たされない医療ニーズに  
幅広いソリューションを提供して患者様貢献を果たし、  
ヒューマンヘルスケア(*hhc*)を実現する

## 2. 新統合会社スキーム

<現行>



<2016年4月1日(予定)>



- エーザイの消化器疾患領域事業と、味の素社の100%子会社である味の素製薬を統合
- 新統合会社は、エーザイと味の素社がその株式の60%、40%をそれぞれ保有し、継続的な成長を実現

- エーザイの消化器疾患領域事業を分割し、味の素製薬が吸収分割の方法により承継(吸収分割)
- 味の素製薬は、本吸収分割の対価として、味の素製薬の普通株式6,000株をエーザイに割当交付し、エーザイは新統合会社の発行済株式総数の60%を保有

## 2. 新統合会社の概要

1. 会社名: EAファーマ株式会社  
(英文表記: EA Pharma Co., Ltd.)

2. 発足日: 2016年4月1日 (予定)

3. 株主: エーザイ60%、味の素社40%

4. 資本金: 4,650百万円

5. 取締役:

取締役会長	長町 隆 (現味の素製薬代表取締役社長)
代表取締役社長	清水 初 (現エーザイ代表執行役)
取締役副社長	松前 謙司 (現エーザイ執行役)
取締役専務	進士 晃 (現味の素製薬 取締役常務執行役員)
取締役(非常勤)	林 秀樹 (現エーザイ代表執行役)

6. 従業員: 約1,250名

## 3. 統合の意義

### 1. 品揃えの拡充による幅広いソリューション・情報提供

上部・下部消化管および肝臓、膵臓を網羅的にカバーする品揃えによる専門性の高い情報提供、幅広いソリューション提案

### 2. 継続的な新薬創出に向けたパイプラインの拡充

消化器疾患領域に特化した開発パイプラインの拡充と両社の知識・経験の統合により、未だ満たされない医療ニーズに応える革新的な新薬の継続的な創出

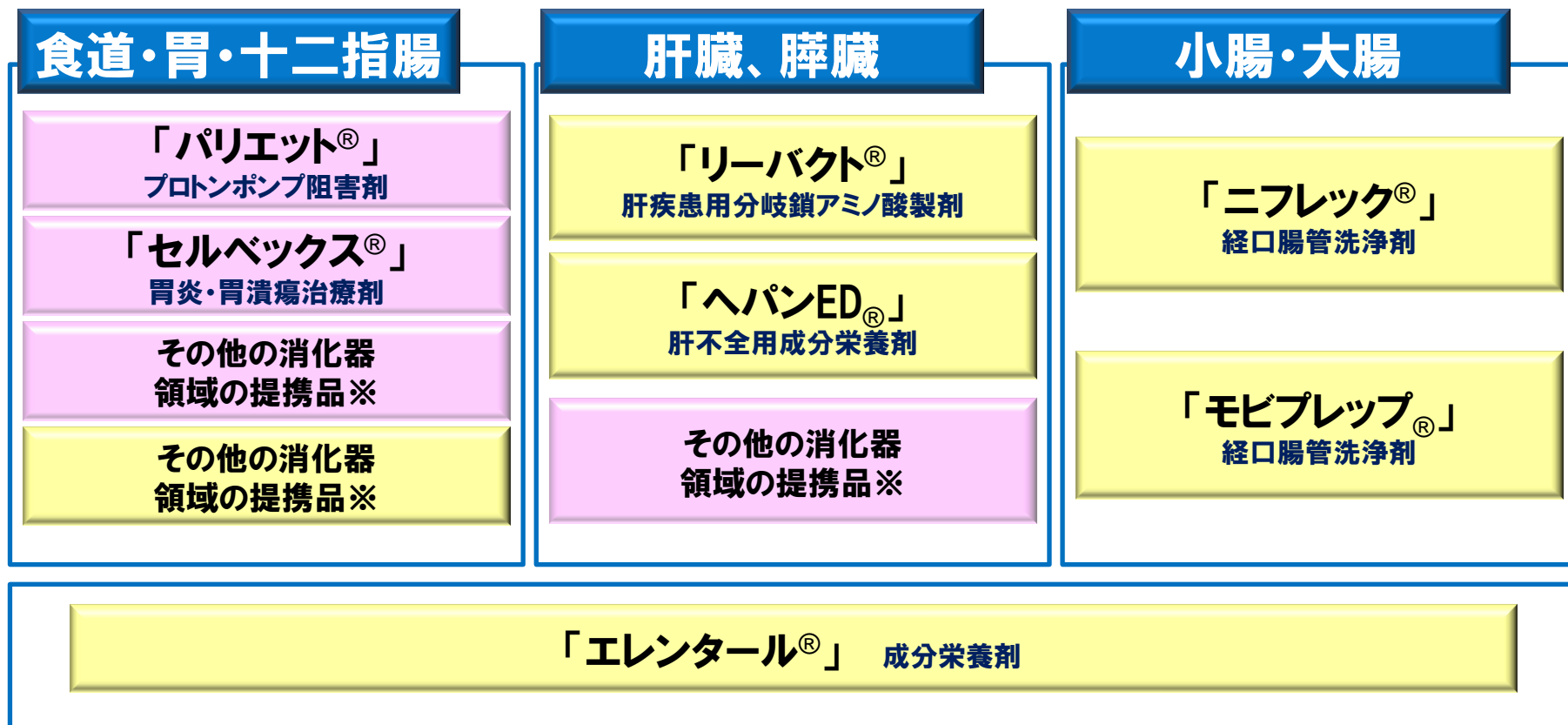
### 3. 統合シナジーの創出による競争力強化



未だ満たされない医療ニーズの高い消化器疾患領域（上部・下部消化管および肝臓、膵臓）において革新的新薬を開発するためのリソースを自律的に確保し継続的な患者様貢献を実現する

## 4. EAファーマの販売製品

上部・下部消化管および肝臓、膵臓を網羅的・重層的にカバーする製品群



※エーザイもしくは味の素製薬がパートナーと提携を行う国内における消化器疾患領域の販売製品に関しては今後パートナーの了承を得た上で、新統合会社への移管もしくは継続する予定

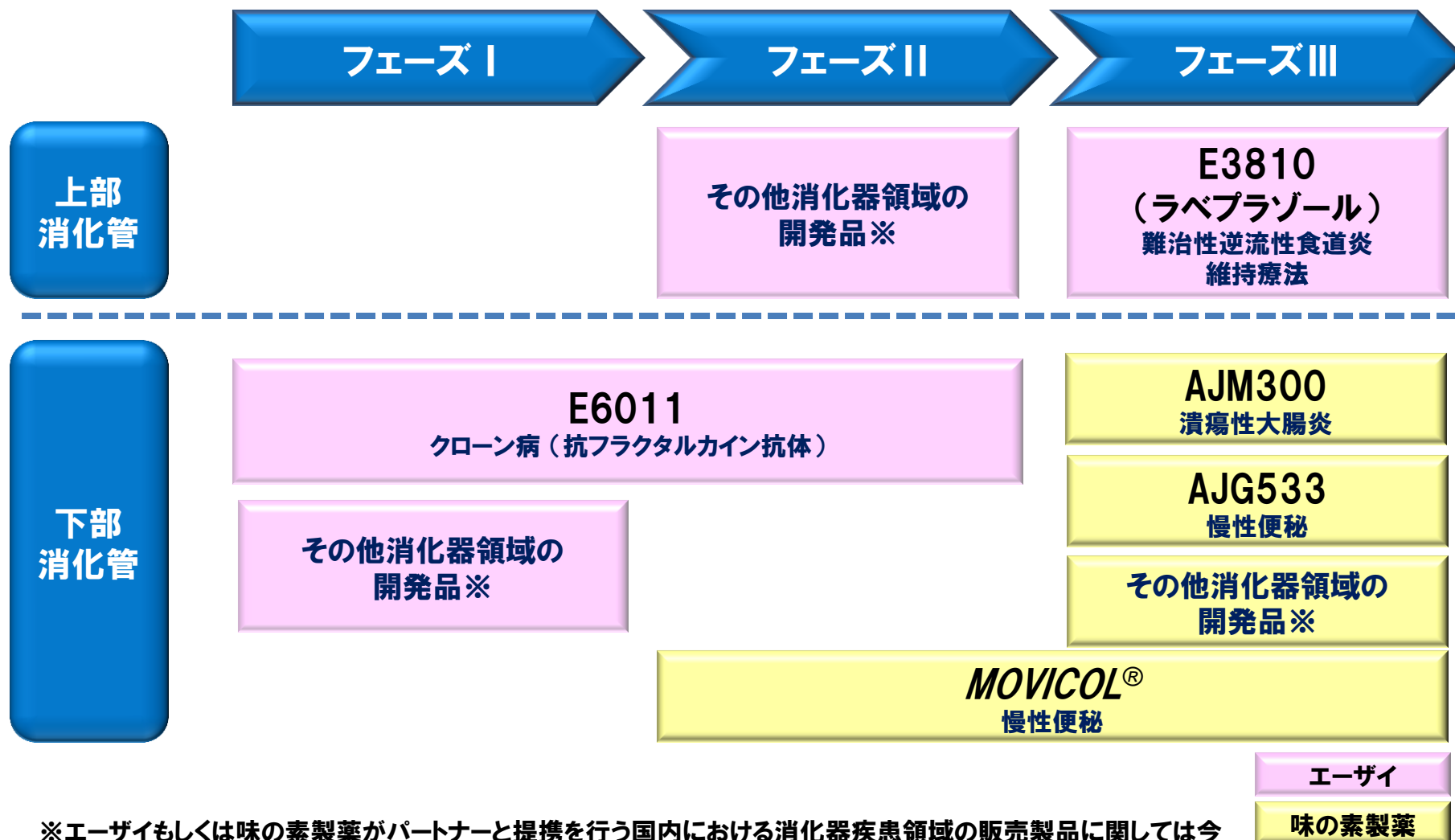
エーザイ

味の素製薬



## 5. EAファーマの開発パイプライン

消化器疾患領域における革新的な新薬の継続的な創出



※エーザイもしくは味の素製薬がパートナーと提携を行う国内における消化器疾患領域の販売製品に関しては今後パートナーの了承を得た上で、新統合会社への移管もしくは継続する予定

## 6. 統合シナジー



# 1. 医薬事業の位置づけ

## 1. 味の素グループにおける歴史

- 1981年、アミノ酸を主成分とする医薬品である「エレンタール」発売以降、アミノ酸を軸とした、臨床栄養、生活習慣病、消化器疾患領域における製品を開発・販売
- 特に消化器疾患領域において他の製薬メーカーとは一線を画すユニークな医薬品を開発・上市

## 2. これまでの味の素グループへの貢献・意義

- アミノサイエンス技術の高度利用の出口として、売上高・利益に貢献
- 患者・医師の未だ満たされない医療ニーズ解決への取り組みによる、社会的信頼性向上への貢献
- 医学関連のアカデミアとの強い関係による、先端技術アクセスへの貢献
- 関連専門技術(安全性評価等)および専門機能による他事業への貢献

## 3. 味の素グループにとっての今後の医薬事業

- 今後とも、ヘルスケア領域(再生医療材料、バイオ医薬CDMO※等)、高機能バイオ新素材領域等における成長機会を積極的に追求

## 2. 本統合の意義

### 1. グループ連結経営の更なる構造強化

- 味の素グループ2014-2016中期経営計画における重要テーマである「FIT（事業構造改革）」の一環として、外部パートナーとの統合による事業構造強化を図り、「確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニー」への成長を実現

### 2. 味の素グループ・スペシャリティ医薬事業の更なる成長

- 味の素製薬の有望なパイプライン群と強固な国内販売プラットフォームに、エーザイの有力な製品群が加わり、消化器スペシャリティファーマとして、持続的成長をより確かなものとする

味の素製薬の資産、ノウハウを新統合会社に繋ぎ、  
「国内最大の消化器スペシャリティファーマ」を実現することで  
社会への更なる貢献を具現化する

# 参考資料

# 味の素製薬株式会社の概要

1. 所在地: 東京都中央区入船二丁目1番1号
2. 発足日: 2010年4月1日
3. 株主: 味の素株式会社100%
4. 資本金: 4,650百万円
5. 代表者: 代表取締役社長 長町隆
6. 事業内容: 医薬品の研究開発・製造・販売
7. 従業員数: 1,089名(2015年10月1日現在)
8. 主な事業所: 全国8支店、工場(福島)、創薬研究所(神奈川)

# エーザイの分割事業の概要

本吸収分割の分割事業は、エーザイの消化器疾患領域における国内の販売機能および研究開発機能

## 1. 承継会社への移管予定製品 / 開発品：

製品 / 開発品	説明	段階	移管・許諾
パリエット	プロトンポンプ阻害剤(PPI)	上市	販売権
セルベックス	胃炎・胃潰瘍治療剤	上市	販売権
E3810 (ラベプラゾール)	難治性逆流性食道炎維持療法	日本フェーズⅢ (2016年度申請予定)	開発権
E6011	クローン病(抗フラクタルカイン抗体)	日本フェーズⅠ / Ⅱ	開発権

上記以外のエーザイがパートナーと提携を行っている日本国内における消化器疾患領域製品及び開発品に関しては、承諾が必要なものについては、今後パートナーの承諾を得た上で、承継会社への移管を行う予定

## 2. 承継会社への出向予定社員：

国内の営業部門、研究開発部門、管理部門等から180名程度の承継会社への出向を予定

# エーザイの消化器疾患領域事業のアセット

## 1. 有力な製品群

パリエット<sup>®</sup> ラベキュア<sup>®</sup>パック ラベファイン<sup>®</sup>パック セルベックス<sup>®</sup>  
強力ネオミ/7<sup>®</sup>アーゲ/7<sup>®</sup>。 グリチロン<sup>®</sup> リパクレオン<sup>®</sup> グルカゴンGノボ

## 2. 有望な開発パイプライン

E3810 (パリエット適応拡大、日本フェーズIII)

E6011 (抗フラクタルカイン抗体 [クローン病]、日本フェーズI/II)

E3710 (プロトンポンプ阻害剤、日本フェーズI/II)

E6007 (インテグリン活性化阻害剤、日本フェーズI)

## 3. 豊富な知識、経験、ネットワーク

消化器疾患領域における、60年以上にわたる創薬・情報提供活動を通じて得た豊富な知識、経験、ネットワーク

- ・上記のうち、エーザイがパートナーと提携を行う国内における消化器疾患領域製品および開発品に関しては今後パートナーの了承を得た上で、新会社への移管を行う予定
- ・E3710については、ゼリア新薬株式会社に対して日本における独占的開発権、共同販促権および非独占的製造権をライセンス済み





Eat Well, Live Well.  
*AJINOMOTO*®